

## 新規ビジネス創出を目指し

### 通信する乾電池の開発・製造事業を行うノバルスと資本業務提携

日東工業株式会社（本社：愛知県長久手市、取締役社長 佐々木 拓郎、以下 日東工業）は、ノバルス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 岡部 顕宏、以下 ノバルス）が実施する第三者割当増資の一部を引き受け、電気と情報インフラをIoTで見守る製品・サービスの開発に向けた業務提携に合意しました。

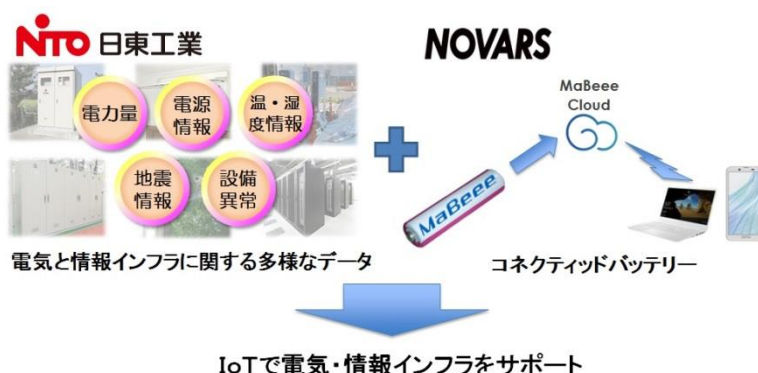
今回の業務提携は、株式会社日本政策投資銀行が主催するオープンイノベーションプログラム「東海オープンアクセラレーター」に参加し、全国のスタートアップ企業から新規事業の提案を募集した結果、実現したものです。

日東工業は、配・分電盤やブレーカ、キャビネットなどを製造・販売しています。近年は、地震による電気火災防止に有効な感震ブレーカーや地震の揺れを低減するサーバラック、電気自動車用充電器シリーズなどの製品開発を行い、さまざまなシーンで電気と情報インフラをサポートしています。

ノバルスは、電池自体に通信モジュールを組み込むコネクティッドバッテリーの開発・製造を手掛けるスタートアップ企業であり、通信機能付き乾電池の「MaBee®」により、あらゆる製品をIoT化、クラウド基盤・AIまで含めたトータルソリューションで豊かな社会の実現をサポートしています。

両社は、インフラの老朽化、人口減少や少子高齢化による人手不足、気候変動に伴う自然災害の多発等による、インフラ管理の限界という社会課題へのソリューションとして、両社の技術を融合し、電気と情報インフラをIoTで見守る製品・サービスの開発を促進することで、これらの社会課題解決に貢献していきます。

#### ■協業イメージ図



#### ■会社概要

ノバルス株式会社

所在地 〒102-0054 東京都千代田区3-15錦町ブンカイサン3階

代表者 代表取締役 岡部顕宏

事業内容 IoTコンサルティング事業、IoTデバイス・プラットフォーム事業

以上